

編集後記

日本語は擬音語・擬態語が非常に豊富な言語である。マンガの仏語訳をしている人から聞いた話だが、絵の一部に溶け込んでいる擬音語・擬態語を翻訳するのは至難の業であるという。だが、韓国語は日本語以上にオノマトベが多いらしいということはこれまで知らなかった。どんなオノマトベがあるのか、その音を日本人が聞いて、同じ質感や味や状態を連想できるのか、といろいろ疑問が湧いた。興味をもたれた方は国立国語研究所の「日本語を楽しもう」というウェブサイトにあるコラム、「韓国語の擬態語と日本語の擬態語の比較」をご覧くださいとよい。韓国語を知らない人にも読みやすい解説となっている。

特別展「韓日食博」の一環として、韓国の書道家をみんぱくにお呼びして、食に関するオノマトベを書いて表現するというワークショップを開催するが（詳細は本誌のインフォメーションページ参照）、どんな作品が生まれるのか、非常に楽しみである。（山中由里子）

●表紙：食にまつわるオノマトベを、ハンダルのカリグラフィーにしたもの。ハルバルと書かれている。お湯などがぐらぐらと煮立っている様子をあらわす。京都造形芸術大学と韓国芸術総合学校のデザイン科の学生のワークショップより（6-7頁参照）

次号の予告

特集

混住

みんぱくをもっと楽しみたい 人のために—会員制度のご案内

国立民族学博物館友の会

本館展示の無料入館や特別展示の観覧料割引にくわえ、『月刊みんぱく』や会員機関誌『季刊民族学』などの定期刊行物や、毎月の友の会講演会、セミナーなどを通して多様な文化の情報を提供しています。

みんぱくフリーパス

1年間、本館展示へ何度でも無料で入館いただけます（特別展示は観覧料割引）。他にも、みんぱくを楽しむための特典がいっぱいです。

国立民族学博物館キャンパスメンバーズ

みんぱくと大学等教育機関との連携を図り、文化人類学、民族学にふれる学びの場を提供することを目的とした会員制度です。

詳細については、一般財団法人千里文化財団までお問い合わせください。
（電話06-6877-8893 / 平日9:00～17:00）

月刊みんぱく 2015年9月号

第39巻第9号通巻第456号 2015年9月1日発行

編集・発行 人間文化研究機構 国立民族学博物館
〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園 10-1
電話 06-6876-2151

発行人 池谷和信
編集委員 山中由里子（編集長） 河合洋尚 菅瀬晶子
丹羽典生 丸川雄三 南真木人 吉岡乾
デザイン 宮谷一欒 長岡綾子
制作・協力 一般財団法人 千里文化財団
印刷 能登印刷株式会社

*本誌についてのお問い合わせは国立民族学博物館広報係にお願いします。
*本誌掲載記事の無断転載を禁じます。



交通案内

- 大阪モノレール「万博記念公園駅」・「公園東口駅」下車、徒歩約15分。
- 阪急茨木市駅・JR茨木駅から近鉄バスで「日本庭園前」下車、徒歩約13分。
- 乗用車は、公園内の「日本庭園前駐車場」(有料)から徒歩約5分。「日本庭園前ゲート」横にある民博専用通行口をお通りください。
- タクシーは、万博記念公園「日本庭園前駐車場」まで乗り入れてきます。

みんぱくホームページ

<http://www.minpaku.ac.jp/>

みんぱくフェイスブック

<http://www.facebook.com/MINPAKU.official/>

みんぱくツイッター

<http://twitter.com/MINPAKUofficial>